

## 平成24年度 国有林モニター会議（宮崎）

### アンケート結果概要

対象者：国有林モニター会議（宮崎）参加者（13名）

モニター会議終了後、会議（現地見学）の概要や配付資料に関するアンケートを実施したところ、以下のような回答が寄せられました。

※同種の回答はまとめました。

#### I 10/20（土）国有林モニター会議について

##### 問1 間伐事業箇所見学の感想

〈主な意見〉

- ・今回見た列状間伐は衝撃的な情景だった。戦後植栽された森林の伐採の効率化が問題となっている事が良く分かり、参加して本当に勉強になった
- ・太陽光が十分取り入れられていた。美しい杉林だった
- ・作業道の基準があることを知り、驚いた
- ・間伐材の価格の安さに驚いた。後継者が少なくなるのではないか
- ・間伐材利用の方法がよく理解できた。まだまだPR不足
- ・間伐された山を見て、今後、皆伐や更新はどうするのか疑問に思った
- ・機械での省力化を実感した
- ・急斜面での危険な現場に思えた。（作業の）工程がよく理解できた
- ・現場の苦労や採算性の苦労などがよく理解できた

##### 問1 まとめ

寄せられた回答から、間伐の現場を見学して頂くことで、モニターの方に間伐作業や路網作設についての理解を深めて頂けたことがわかります。また、現場見学で木材生産にかかる労力を知り、土場に並ぶ原木の価格を知ったモニターの方から、木材の価格が低迷している現状に対する不満なども聞かれました。

##### 問2 コンテナ苗の植栽箇所見学の感想

〈主な意見〉

- ・事前資料は見てもピンとこなかったが、実際に現地の山に行き、現場を見て驚いた。昔なら穴を掘るのが大変で苦労するような場所に、立派に生育している姿に感動した。誠にありがたい開発と感心した
- ・高く険しい地の植栽には、コンテナ苗が適していると思った
- ・スギの育ちの違い（個々の差）に驚いた。生き生き育っていた
- ・森林管理局の地道な活動を知ることが出来た
- ・コンテナ苗の単価等勘案しても、経費節減になり、今後の施業（つる切、除伐）についても、見ていく必要がある
- ・高所までの案内や説明を受け、感謝している

- ・苗木の運搬など、大変な作業だと思った。年間を通して植栽可能とのことで、信じられない思い
- ・コンテナ苗により、大変な仕事が改善されて欲しい
- ・再生事業の前途多難さを実感した。過去のボランティア活動で感じた、若者達の、何か貢献したいという熱意を、「再生事業」に活用する対策を検討したい！
- ・山登りがきつかったが、植栽のことがよく理解できた

## 問2 まとめ

コンテナ苗の植栽地を見学し、3年生のスギを見て、活着率が高く、年間を通して植栽可能な点に関心が集まりました。また、実際の運搬や植栽作業への関心も高く、新たな技術であるコンテナ苗に対して、多くの期待の声が挙げられました。

## 問3 コンテナ苗生産施設見学の感想

### <主な意見>

- ・生産業者の話を聞き、長年の苦勞と、一朝一夕では出来ない長期間にわたる事業であることがわかった
- ・初めて見学して驚いた。今後展開していくと思う
- ・穂木を取る人が少ないとのこと。仕事がない時代、山が好きな人に仕事を与えたら
- ・山に運ぶため、軽量化に対する工夫をしているなど、初めて知った
- ・コンテナ苗の生産は、労働的には高齢者にも出来るものと思えた
- ・現場で業者の方の説明を聞くことが出来て、素晴らしい見学だった
- ・思いがけない話が多く、有意義だった
- ・需要の面など、課題があることが理解できた

## 問3 まとめ

現在生産中のコンテナ苗や、これまでに試作された苗などを多数見せてもらい、苗木生産業者の熱心な説明を受けたことで、コンテナ苗に対する理解が深まったようです。

## 問4 国有林モニター会議（宮崎）全般の意見

### <主な意見>

- ・今まで頭の中にあつた“常識”と思っていたものが、全く通用しない時代の流れと変化があり、待ったなしの問題が山積していることがよく理解できた
- ・資料だけでは十分に理解できなかったことと思う
- ・自分の意識が変革され、変化した自分の考えを周りの人に伝えたくくなりました
- ・質問に対して、当局より解りやすく説明いただき、全くの素人の私には良い勉強になった
- ・スムーズな運営であつたと思う
- ・女性が参加されており、融和の一因となり良かった
- ・採算のとれない山の急斜面の植栽をやめ、自然にもどし、植物・野鳥・水の保全管

理に務めた方が良いのでは

- ・木材価格の低下に対して、さまざまな対策をされていると思うが、これからは森林そのものを売りとした、観光面に力を入れたらいい
- ・スギだけに頼るより、紅葉樹等を植え、人が山歩きなど、レクレーション出来る山を作ってみても良い
- ・初めての会議で、専門的な意見が多く、知識があまりないものにとっては、意見を言いづらい状態で、もっと発言しやすい雰囲気を作って頂きたい
- ・若者にも声はかけていると思いますが、参加者がいないのが残念
- ・出来たら一泊泊まりで、色々と話してみたかった。今後是非実行していただきたい
- ・終了後、列車の待ち時間が長く、もう少し会議時間を長くした方が良かった
- ・話す時間が少ない。昼食も車中でなく、時間をとっていただきたい

#### 問4 まとめ

全体として、新しい発見や考え方の変化があり、参加して良かったとの感想が聞かれました。しかし、人工林が天然林と比べて防災機能の面で劣るような印象を持つ方が多く、誤解を解くには至らなかったようです。また、意見交換会では、参加頂いたモニターの知識や経験に差があり、一部の人には話しにくい雰囲気となったようで、残念でした。意見交換会については、時間が足りず、十分に発言できなかったという方もおり、解散の時間と併せて今後の課題となります。

#### 問5 その他、意見を言い足りなかった点、わかりにくかった点等

<主な意見>

- ・良く分かった
- ・難しいことはわからないが、(参加して)勉強になった
- ・世界の状況が現在どのような動きにあり、日本は、その中でどのように取り組もうとしているのかを知りたい
- ・国内だけでなく、外国の高級材(銘木)と付加価値を付けた廃材の利用材を輸出する発想の転換が必要ではないか
- ・国内の材木を使った家造りを出来るような対策を打ってほしい
- ・外材に対抗できる施策をお願いしたい
- ・参加者に、オブリゲーション(責任)を与える方が良い。事前に質問事項を送り、回答をいただいた上で、参加予定者に事務局見解を加味したものでフィードバックして会議に臨めば、不慣れな方でも、会議に参加することが出来る
- ・各課題について、全く知らない人がいる事実を前提として、対策、対応を再検討することが必要

#### 問5 まとめ

言い足りなかった意見として、さらに多くの情報を求める意見等が出されました。また、会議の進め方についても、全員が情報を共有し、活発な意見交換となるよう工夫を求める意見が出されました。今後の会議運営に活かしていきたいと思います。

## II 配布した参考資料について

### 問 配布した資料に対する意見・感想

- ・宮崎森林管理署作成の「あなたの町の国有林」の冊子で、各地域の国有林の分布状況が一目瞭然で、よく理解できました。添付してある写真もその場所をよく理解できて、貴重な資料
- ・九州からの森林・林業の再生の資料はカラフルで図面も入り、文字も大きく分かりやすかった
- ・丁寧に作成してあり、わかりやすかった
- ・詳細すぎる。1, 2枚でいい
- ・もっとマンガ的で、かつ、数字を減らした（金銭は別）スーパーのチラシのようなもので十分

### まとめ

写真付き資料や国有林の所在がわかる図面に対しては、好評を得ました。しかし、資料の内容が詳細すぎてわかりにくいとの意見が出されたことから、今後の国有林モニター会議資料などの作成に反映します。

## III その他

### 問 その他、国有林や森林・林業全般に対する意見、要望等

- ・あらゆる機会（チャンス）を利用して、国民の啓発活動を展開しなければならない
- ・特に学生へのボランティア活動を企画して、積極的に参加する雰囲気醸成していくことが必要
- ・モニター会員を増やす
- ・小学生の頃から山の役割、木の大切さなど今以上に教えた方がよい
- ・如何に森林があることにより国土が守られているか、「川上から川下へ」の考えを伝えていくかが、重要である
- ・国有林内で市民が参加出来るイベントを企画していただきたい。植物採集、食べられる植物（食糧）を使つての炊き出しをし、イノシシ、シカの肉を使った料理を振る舞ったら良い
- ・コンテナ苗の話などを聞き、苦勞して育てたスギを、柱等の材としては勿論、羽柄材、切れ残った残木まで、活用しようと思います
- ・「国家百年の計」に資する部分は、林野行政の別枠とすべき、との声を、会議での「モニター意見」として提示するのも有効な一策と拝察します
- ・課題が多過ぎる気がする。国有林のスギ造林地は減少させていく方が良い

### まとめ

国有林において一般の方が参加できるイベント等を多数実施することや、モニター制度などの機会を利用し、森林・林業・国有林についてPRしていくことが多く求められました。また、国有林の管理経営に対して、治山などの特に国土保全に係わる事業を別枠でまとめることや、植栽樹種の転換を求める意見が出されました。